

福島経済マンスリー

6月の県内経済は、一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

1. 2018年6月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さに加え、公共投資が減少基調で推移するなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。		
消費動向	大型小売店販売額(全店舗)は、百貨店が10カ月連続で前年を下回ったものの、スーパーが2カ月ぶりに前年を上回り、合計でも3カ月ぶりに前年を上回った。乗用車新車登録台数は、軽乗用車が前年を上回ったものの、普通車、小型車が前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が7カ月ぶりに前年を上回ったものの、請負金額と保証金額が3カ月連続で前年を下回った。震災前を上回る水準を維持しながらも、復旧・復興の進捗に伴い、基調としては減少が続いている。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が3カ月連続、床面積と工事費予定額が2カ月連続で、いずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家が2カ月ぶり、貸家が5カ月ぶり、分譲が2カ月連続で前年を上回り、全体でも5カ月ぶりに前年を上回った。貸家は522戸となり、8カ月ぶりに500戸を超えた。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比(季節調整済指数)が+4.2%と2カ月ぶりに前月を上回った。業種別の前月比をみると、「化学工業」など11業種で上昇し、「輸送機械工業」など8業種で低下した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.03ポイント、原数値が前年同月比+0.04ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△7.1%と5カ月連続で前年を下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は5月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2018年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	0.0	0.5	0.4	△ 0.0	△ 1.5	1.0
	乗用車新車登録台数	△ 0.7	△ 5.2	△ 6.4	△ 2.6	△ 5.3	△ 9.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 32.3	△ 17.3	12.9	△ 3.2	△ 57.9	△ 44.8
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 53.4	10.1	△ 8.4	△ 27.8	71.2	14.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	5.4	△ 5.3	△ 30.9	△ 19.9	△ 30.7	26.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.3	△ 6.2	△ 4.2	△ 3.3	3.9	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.08	0.07	0.04	0.07	0.08	0.04
	雇用保険受給者実人員	0.1	△ 5.3	△ 6.6	△ 1.7	△ 3.6	△ 7.1

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2018年1月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 17.3	△ 10.8	11.6	△ 4.9	2.3	△ 2.3
	乗用車新車登録台数	15.5	8.3	59.3	△ 49.1	△ 0.8	23.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 3.3	△ 9.6	91.4	△ 26.8	△ 39.9	76.1
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 19.4	△ 3.8	37.5	46.4	△ 30.1	△ 26.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 18.0	4.3	△ 24.4	44.9	△ 37.0	69.6
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 7.6	1.7	5.5	△ 2.4	4.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	△ 0.02	0.02	0.02	△ 0.02	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	△ 0.2	△ 5.6	1.3	△ 0.9	22.0	△ 3.0

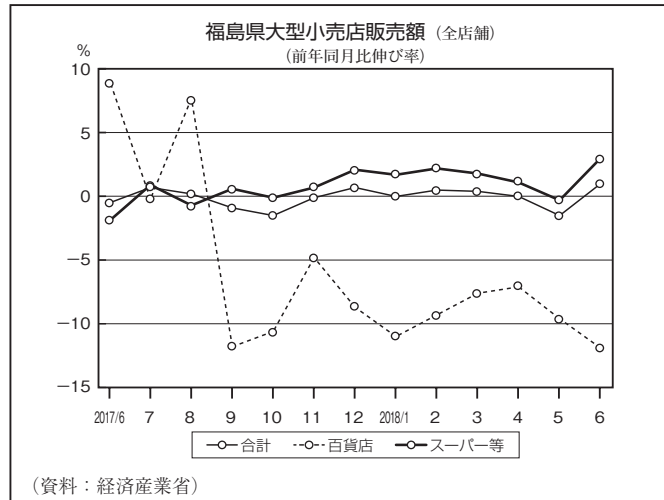
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

3. 県内経済動向

消費動向

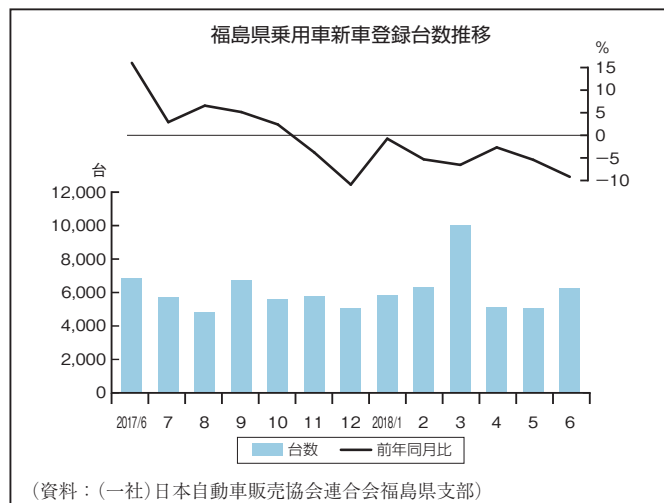
大型小売店：3カ月ぶりに前年比増

6月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で201億60百万円（前年同月比+1.0%）と3カ月ぶりに前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△11.9%となった。一方、スーパーは、衣料品、飲食料品がともに前年を上回り、合計では同+3.0%となった。



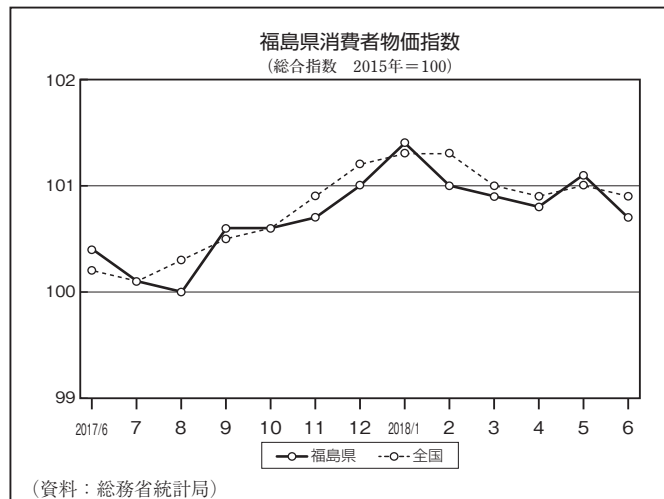
乗用車販売：8カ月連続で前年比減

6月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,241台（前年同月比△9.0%）と、8カ月連続で前年を下回った。車種別でみると、軽乗用車が2,425台（同+1.7%）で2カ月ぶりに前年を上回ったものの、普通車が2,032台（同△5.9%）で6カ月連続、小型車が1,784台（同△23.0%）で9カ月連続と、ともに前年を下回った。



消費者物価指数：前年比上昇、前月比低下

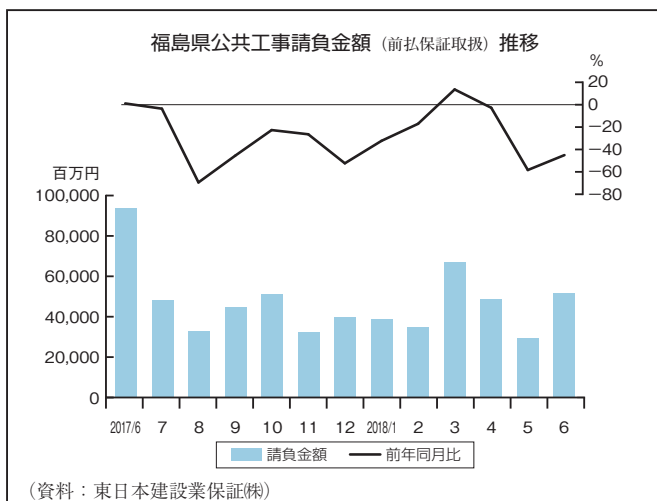
6月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.7で前年同月比+0.2%、前月比△0.4%となった。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の99.9（同+0.5%）など3費目で上昇し、「被服及び履物」の98.7（同△2.5%）など7費目で低下した。



公共投資

公共工事：請負金額は3カ月連続で前年比減

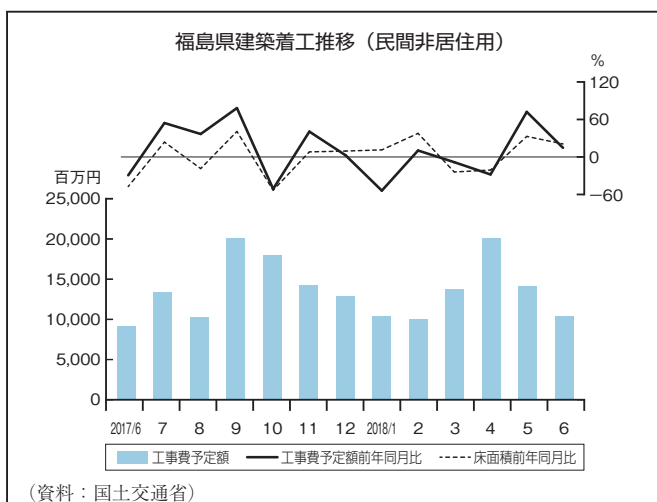
6月の公共工事前払保証取扱は、件数が847件（前年同月比+12.9%）で7カ月ぶりに前年を上回ったものの、請負金額が520億73百万円（同△44.8%）、保証金額が239億66百万円（同△45.9%）と、ともに3カ月連続で前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は2カ月連続で前年比増

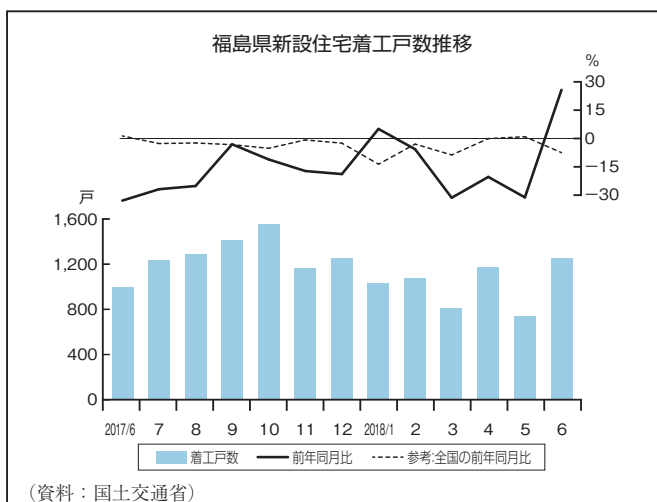
6月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が169棟（前年同月比+14.2%）で3カ月連続、床面積が49,751㎡（同+20.5%）で2カ月連続、工事費予定額が104億3百万円（同+14.4%）で2カ月連続と、いずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は5カ月ぶりに前年比増

6月の県内新設住宅着工戸数は、1,255戸（前年同月比+26.0%）と5カ月ぶりに前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が563戸（同+7.6%）で2カ月ぶり、「貸家」が522戸（同+43.8%）で5カ月ぶり、「分譲」が166戸（同+50.9%）で2カ月連続と、いずれも前年を上回った。

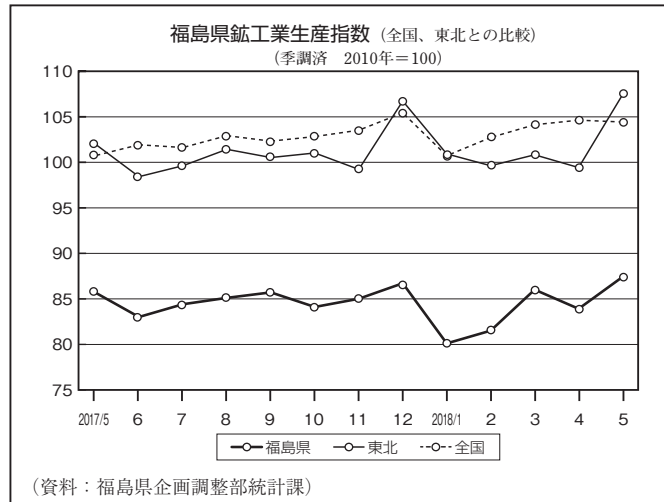


生産活動

※鉱工業生産指数は5月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに上昇

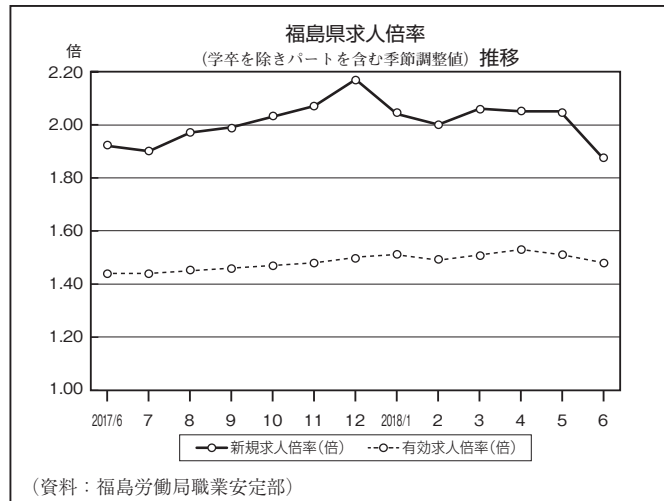
5月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は87.4で前月比+4.2%と2カ月ぶりに前月値を上回った。一方、原指数は83.6で前年比+3.9%と5カ月ぶりに前年値を上回った。業種別の季節調整済指数をみると、「化学工業」（前月比+11.5%）など11業種で上昇し、「輸送機械工業」（同△8.8%）など8業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下、前年比上昇

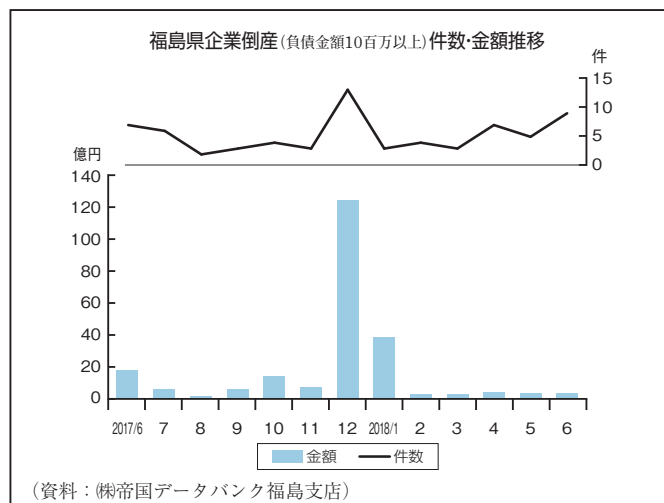
6月の新規求人倍率は、季節調整値が1.88倍（前月比△0.17ポイント）、原数値が1.98倍（前年同月比△0.02ポイント）となった。また、6月の有効求人倍率は、季節調整値が1.48倍（前月比△0.03ポイント）、原数値が1.39倍（前年同月比+0.04ポイント）となった。一方、6月の雇用保険受給者実人員は6,446人（前年同月比△7.1%）と5カ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比減

6月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が9件（前年同月比+28.6%）で前年を上回ったものの、負債総額は3億56百万円（同△80.4%）で前年を下回った。業種別では、小売業で4件、建設業で3件、卸売業で2件となった。

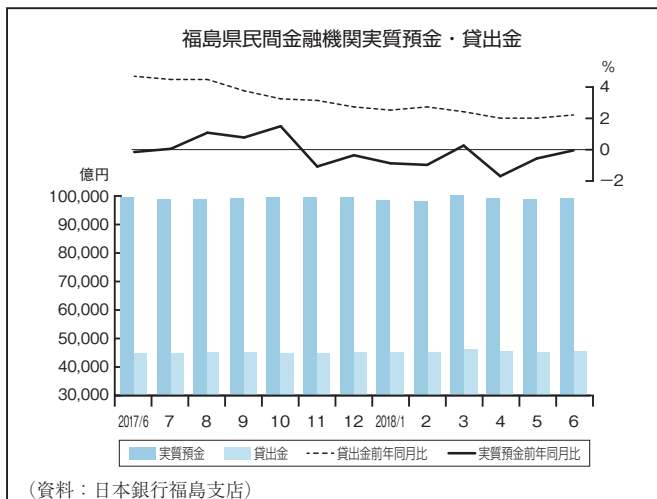


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の6月末の実質預金残高は、9兆9,698億円（前年同月比△0.1%）と3カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,525億円（同+2.1%）と5年1カ月連続で前年を上回っている。

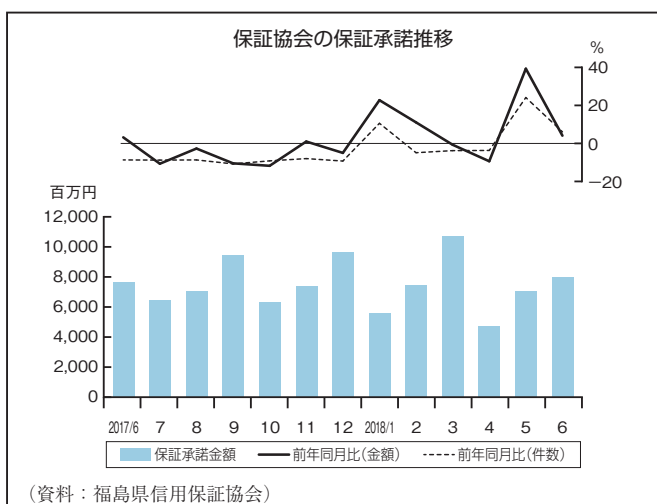
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比増

6月の保証承諾は、件数が691件（前年同月比+6.0%）、保証金額が79億41百万円（同+4.0%）となった。また、6月末日現在の保証債務残高は、件数32,435件（同△9.7%）、金額2,753億96百万円（同△9.9%）となった。

一方、6月中の代位弁済は、件数が20件、金額が1億32百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

家電大型専門店 6月の家電大型専門店の売上高は、エアコンや扇風機が伸びたほか、テレビやスマートフォンなどが前年を上回り、合計では前年をやや上回った。

ホームセンター 6月のホームセンターの売上高は、主力の園芸・農業資材や日用品などが前年比増加したことで、合計でも前年をやや上回った。

旅行 6月の個人旅行取扱額は、国内旅行が北海道などを中心に前年を20%ほど上回り、海外旅行も前年を10%ほど上回った。

高速道路 6月の県内自動車道出入台数は、合計で4,581,959台（前年同月比△12.0%）と、6カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,524,937台（同△1.6%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が554,402台（同△4.9%）でともに2カ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が335,966台（同△11.1%）で4カ月連続、常磐自

自動車道（いわき勿来IC～新地IC）が1,166,654台（同△30.5%）で10カ月連続と、いずれも前年を下回った。

福島空港 6月の福島空港国内定期路線の利用客数は、21,723人（前年同月比+3.8%）と3カ月連続で前年を上回った。路線別にみると、札幌便が6,263人（同△10.8%）と2カ月連続で前年を下回ったものの、大阪便が15,460人（同+11.1%）と6カ月連続で前年を上回った。（国際定期路線は全便運休）

生産活動

※企業ヒアリング等による結果

化学 6月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けの需要が引き続き好調であるのに加え、家庭用製品も堅調に推移するなど、生産水準は前年を上回っている。

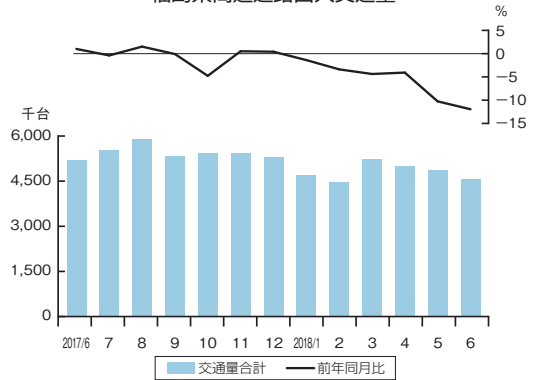
鉄鋼・金属 6月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が前年をやや上回ったものの、半導体向け電子材が前年を10%ほど下回り、全体でも前年を5%ほど下回った。6月の建機用鋳造品の生産は、需要拡大が続き前年を15%ほど上回った。6月の鋳鋼品の生産は、船用部品が前年を80%ほど上回る一方、バルブ部品は前年を20%ほど下回った。

輸送用機械 6月の自動車用鋳造品は、トラック用の受注が引き続き好調で、前年を上回る生産水準を維持している。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

電気機械 6月の電気機械の生産は、変圧器や配電盤、車載モータなど、全般的に80～90%の水準にとどまり、合計では前年を15%ほど下回った。

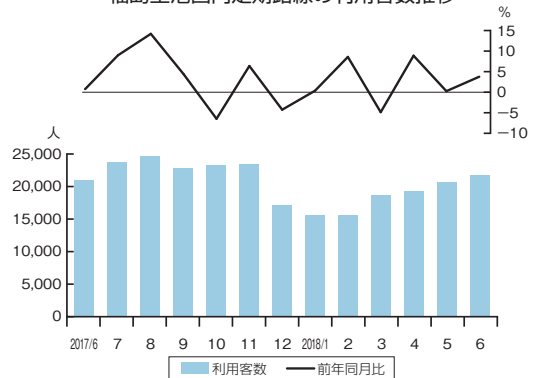
情報通信機械 6月の情報処理装置の生産は、前月比で若干増加し、前年をやや上回る水準となっ

福島県高速道路出入交通量



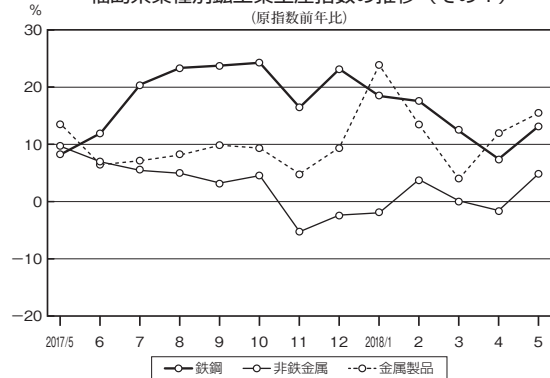
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



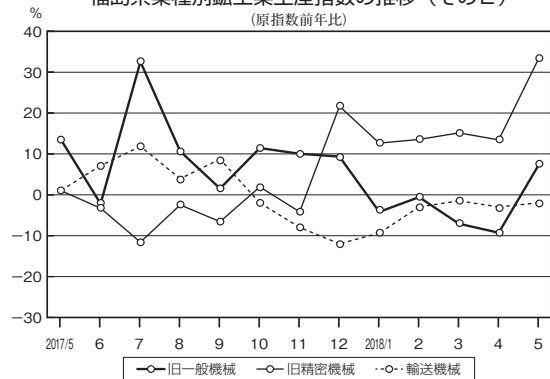
(資料：福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その1)



(資料：福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移 (その2)



(資料：福島県企画調整部統計課)

ている。

電子部品・デバイス 6月のLSI（大規模集積回路）の生産は、前年比で5%ほど増加し、前月比でも2%ほど上回るなど、需要回復による生産増加が続いている。

精密機械 6月の医療用内視鏡は、国内外ともに受注が堅調に推移し、前年をやや上回る水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外での旺盛な需要を背景に、フル稼働の生産が続いている。

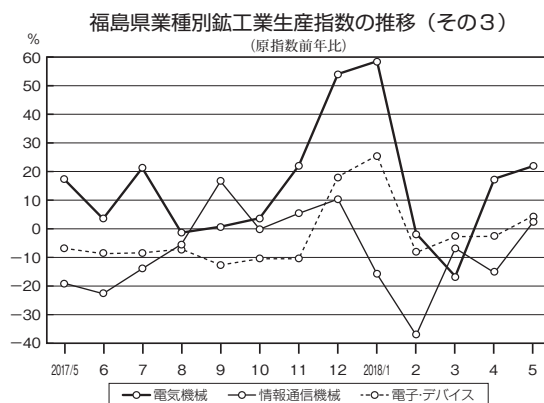
窯業・土石 6月の生コンクリート出荷量は、全体で151,930m³（前年同月比△6.5%）と4カ月連続で前年を下回った。地域別にみると、官公需で前年を上回ったのは復興が進む相双地域のみとなった。一方、民需では中通りや会津地域で前年を上回った。

紙・紙加工品 6月の製紙の生産は、ノーカーボン紙が引き続き減少傾向にあるものの、感熱紙が前年を20%ほど上回り、全体では前年比横ばいとなった。

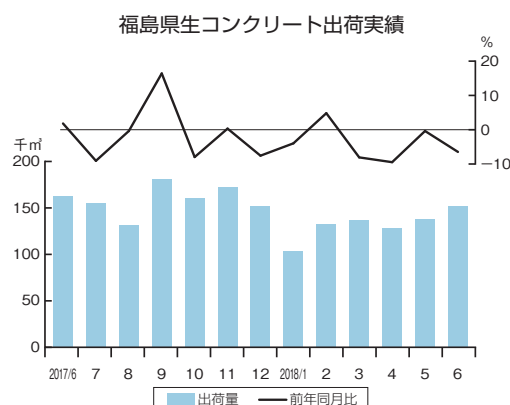
清酒 6月の清酒移出数量は、961kL（前年同月比△0.4%）と4カ月連続で前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が533kL（同+1.1%）と2カ月ぶりに前年を上回ったものの、一般酒（特定名称酒以外の酒）が429kL（同△2.3%）と4カ月連続で前年を下回った。

化学繊維物 6月の化学繊維物は、品目の変更などから生産額は前年を20%ほど下回ったが、受注状況は安定している。

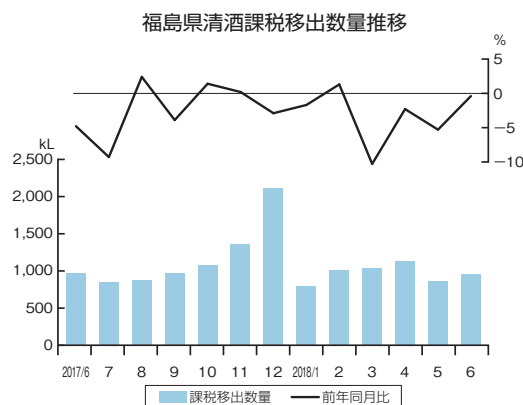
ニット 6月のニットは、秋冬物製品の生産が本格的に始まり、生産額は前年並となった。



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)